

苦難-慰め

コリント人への手紙 第二

1

1 神のみこころによるキリスト・イエスの使徒パウロ、および兄弟テモテから、コリントにある神の教会、ならびにアカヤ全土にいるすべての聖徒たちへ。  
 2 私たちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平安があなたがたの上にありますように。

3 私たちの主イエス・キリストの父なる神、慈愛の父、すべての慰めの神がほめたたえられますように。  
 4 神は、どのような苦しみのときにも、私たちに慰めてくださいます。こうして、私たちが、自分自身が神から受ける慰めによって、どのような苦しみの中にも、人をも慰めることができるのです。  
 5 それは、私たちにキリストの苦難があふれているように、慰めもまたキリストによってあふれているからです。

6 もし私たちが苦しみ会うなら、それはあなたがたの慰めと救いのためです。もし私たちが慰めを受けるなら、それもあなたがたの慰めのためで、その慰めは、私たちが受けている苦難と同じ苦難に耐え抜く力をあなただけに与えるのです。  
 7 私たちがあなたがたについて抱いている望みは、動くことがありません。なぜなら、あなたがたが私たちに苦しみをもたしているように、慰めをもたしていることを、私たちは知っているからです。

Ex 33:19 友々々々 (70人 G362?)  
 友々の榮光を見せくらせり。  
 O-29:15

EPAY

8 兄弟たちよ。私たちがアジャヤで会った苦しみについて、ぜひ知っておいてください。私たちは、非常に激しい、耐えられないほどの圧迫を受け、ついにいのちさえも危くなり、  
 9 ほんとうに、自分の心の中で死を覚悟しました。これは、もはや自分自身を頼まず、死者をよみがえらせてくださる神により頼む者となるためでした。  
 10 ところが神は、これほどの大きな死の危険から、私たちを救い出してくださいました。また将来も救い出してくださいます。なおも救い出してくださいさうという望みを、私たちはこの神に置いていなのです。  
 11 あなたがたも祈りによって、私たちが助けて協力してくださいさうでしょう。それは、多くの人々の祈りにより私たちに与えられた恵みについて、多くの人々が感謝をささげようになるためです。

死-救い出す  
 (苦) 神に頼む。

苦難の中でのパウロ  
 パウロに信頼するコリント

苦しみの中では  
 死から復活

しかり否 率先

12 私たちがこの世の中で、特にあなたがたに対して、聖さと神から来る誠実さをもつて、人間的な知恵によらず、神の恵みによって行動していることは、私たちの良心のあかしするところであって、これこそ私たちの誇りです。

しかり否 計画

13 私たちは、あなたがたへの手紙で、あなたがたが読んで理解できること以外は何も書いていません。そして私は、あなたがたが十分に理解してくれることを望みます。

恵み 計画

14 あなたがたは、ある程度は、私たちを理解しているのですから、私たちの主イエスの日には、あなたがたが私たちの誇りであるように、私たちもあなたがたの誇りであるということを、さらに十分に理解してください。さう望みます。

恵み 誇り

15 この確信をもって、私は次のような計画を立てました。まず初めにあなたがたのところへ行くことによって、あなたがたが恵みを二度受けられるようにしようとしたのです。



アタラシキ心  
ユダヤ

アタラシキ心  
ユダヤ

手紙で  
誇りを伝えます

敬し

10 もしあなたがたが人を敬すなら、私もその人を敬します。私が何かを敬したのなら、私の敬したことは、あなたがたのために、キリストの御前で敬したのです。これは、私たちがサタンに欺かれないうえです。私たちはサタンの策略を知らないわけではありません。

悲しみ愛

7 あなたがたは、むしろ、その人を敬し、慰めてあげなさい。そうしないと、その人はあまりにも深い悲しみに押しつぶされてしまうかもしれません。  
8 そこで私は、その人に対する愛を確認することを、あなたがたに勧めます。

悲しみ愛

4 私は大きな苦しみと心の嘆きから、涙ながらに、あなたがたに手紙を書きました。それは、あなたがたを悲しませるためではなく、私があるがたに対して抱いている、あふれるばかりの愛を知っていただきたいからでした。

容赦

23 私はこのいのちのちかけ、神を証人にお呼びして言います。私がまだコリントへ行かないでいるのは、あなたがたに対する思いやりのためです。

サタン  
11:13-15

主の手

真実の計画  
vs 偽りの策略

サタン - 敬し

喜びのため

13:2

手紙金

御霊 - 信仰

手紙で  
悲しみを伝えます



マケドニアへ死  
→ uas

マケドニアへの死

12 私が、キリストの福音のためにトロアスに行ったとき、主は私のために門を開いてくださいましたが、兄弟テトスに会えなかったので、心に安らぎがなく、その人々に別れを告げてマケドニアへ向かいまし  
た。

14 しかし、神に感謝します。神はいつでも、私たちを導いてキリストによる勝利の行列に加え、至る所で私たちを通して、キリストを知る知識の光をおり放つてくださいます。

15 私たちは、救われる人々の中でも、滅びる人々の中でも、神の前にかくわしいキリストの光におりなす。ある人々にとっては、死から出て死に至らせるかおりであり、ある人々にとっては、いのちから出ていのちに至らせるかおりです。このような務めにふさわしい者は、いったいだれでしょう。

17 私たちは、多くの人のように、神のことばに混ぜ物をして売ることせず、真心から、また神によって、神の御前でキリストにあって語るので

コリ 4:18

マケドニアへ死

マケドニアへ死

3

1 私たちはまたもや自分を推薦しようとして、あなたにあなたにあなたに推薦状とかが、あなたがたの推薦状とかが、私たちに必要なものでしょうか。

2 私たちの推薦状はあなたがたです。それは私たちの心にしるされていて、すべての人に知られ、また読まれているのです。

3 あなたがたが私たちの奉仕によるキリストの手紙であり、墨によってではなく、生ける神の御霊によって書かれ、石の板ではなく、人の心の板に書かれたものであることが明らかだからです。

4 私たちはキリストによって、神の御前でこういう確信を持っています。

5 何事かを自分のしたことと考える資格が私たち自身にあるというではありません。私たちの資格は神からのものです。

6 神は私たちに、新しい契約に仕える者となる資格を下しました。文字に仕える者ではなく、御霊に仕える者です。文字は殺し、御霊は生かすからです。

7 もし石に刻まれた文字による、死の務めにも栄光があつて、モーセの顔の、やがて消え去る栄光のゆえにさえ、イスラエルの人々がモーセの顔を見つめることができなかつたほどだとすれば、

8 まして、御霊の務めには、どれほどの栄光があることでしょうか。

9 罪に定める務めに栄光があるのなら、義とする務めには、なおさら、栄光があふれるのです。

10 そして、かつて栄光を受けたものは、このばあい、さらにすぐれた栄光のゆえに、栄光のないものになっているからです。

11 もし消え去るべきものにも栄光があつたのなら、永遠するものには、なおさら栄光があるはず

マケドニアへの死 - 証明はコリント  
御霊の栄光のゆえ

(福音) 1370の読み。  
モリスの御顔による神の栄光を表していよ：主の御霊の働き。

12 このような望みを持つているので、私たちはきわめて大胆に語ります。

13 そして、モーセが、消えうせるものの最後をイスラエルの人々に見せないように、顔におおいを掛けたようなことはしません。

14 しかし、イスラエルの人々の思いは鈍くなったのです。というのは、今日に至るまで、古い契約が朗読されるときに、同じおおいが掛けられたままで、取りのけられてはいません。なぜなら、それはキリストによって取り除かれるものだからです。

15 かえって、今日まで、モーセの書が朗読される時はいつでも、彼らの心にはおおいが掛かっているのです。

16 しかし、人が主に向くなら、そのおおいは取り除かれるのです。

17 主は御霊です。そして、主の御霊のあるところには自由があります。

18 私たちはみな、顔のおおいを取りのけられて、鏡のように主の栄光を反映させながら、栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられて行きます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです。

4 「こういうわけで、私たちは、あわれみを受けてこの務めに任じられているのですから、勇気を失うことなく、  
2 恥ずべき隠された事を捨て、悪巧みに歩まず、神のことばを曲げず、真理を明らかにし、神の御前で自分自身をすべての人の良心に推薦しています。  
3 それでもなお私たちの福音におおいが掛かっているとしたら、それは、滅びる人々のばあいに、おおいが掛かっているのです。  
4 そのばあい、この世の神が不信者の思いをくらませ、神のかたちであるキリストの栄光にかかわる福音の光を輝かせないようにしているのです。  
5 私たちは自分自身を宣べ伝えるのではなく、主なるキリスト・イエスを宣べ伝えます。私たち自身は、イエスのために、あなたがたに仕えるしもべなのです。  
6 「光が、やみの中から輝き出よ。」と言われた神は、私たちの心を照らし、キリストの御顔にある神の栄光を知る知識を輝かせてくださったのです。  
7 私たちは、この宝を、土の器の中に入れておいて、この測り知れない力が神のものであって、私たちから出たものでないことが明らかにされるためです。

8 私たちは、四方八方から苦しめられますが、窮することはありません。途方にくれています、行きつまることはありません。

9 迫害されていますが、見捨てられることはありません。倒されますが、滅びません。

10 いつでもイエスの死をこの身に帯びていますが、それは、イエスのいのちが私たちの身において明らかに示されるためです。

11 私たちが生きている者は、イエスのために絶えず死に渡されていますが、それは、イエスのいのちが私たちの死ぬべき肉体において明らかに示されるためなのです。

12 こうして、死は私たちのうちに働き、いのちはあなたがたのうちに働くのです。

13 私は信じた。それゆえに語った。」と書いてあるとおり、それと同じ信仰の霊を持っている私たちも、信じているゆえに語るのです。

14 それは、主イエスをよみがえらせた方が、私たちをもイエスとともによみがえらせ、あなたがたといっしょに御前に立たせてくださることを知っているからです。

15 すべてのことはあなたがたのためであり、それは、恵みが増えます多くの人々に及んで感謝が満ちあふれ、神の栄光が現れるようになるためです。

16 ですから、私たちは勇気を失いません。たとい私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされていきます。

17 今の時の軽い患難は、私たちのうちに働いて、測り知れない、重い永遠の栄光をもたらすからです。

18 私たちは、見えるものではなく、見えないものこそ目を留めます。見えるものは一時的であり、見えないものはいつまでも続くからです。

苦しみの中  
よみがえらる  
望み



天の家 ← 地上の幕屋.  
主のみもと ← 肉 神は.

5

1 私たちの住まいである地上の幕屋がこわれても、神の下さる建物があ  
ることを、私たちは知っています。それは、人の手に  
よらない、天にある永遠の家です。  
2 私たちはこの幕屋にあってうめき、この天から与え  
られる住まいを着たいと望んでいます。  
3 それを着たなら、私たちは裸の状態になることはな  
いからです。  
4 確かにこの幕屋の中にいる間は、私たちは重荷を負  
って、うめいています。それは、この幕屋を脱ぎたい  
と思うからでなく、かえって天からの住まいを着たい  
からです。そのことによって、死ぬべきものがいのち  
にのまれてしまうためにです。  
5 私たちをこのことにかなう者としてくださった方は  
神です。神は、その保証として御霊を下さいました。  
6 そういうわけで、私たちはいつも心強いのです。た  
だし、私たちが肉体にいる間は、主から離れていると  
いうことも知っています。  
7 確かに、私たちは見るところによってではなく、信  
仰によって歩んでいます。  
8 私たちはいつも心強いのです。そして、むしろ肉体  
を離れて、主のみもとにいるほうがよいと思っていま  
す。  
9 そういうわけで、肉体の中にあるうと、肉体を離れ  
ていようと、私たちの念願とするところは、主に喜ば  
れることです。  
10 なぜなら、私たちはみな、キリストのさばきの座に  
現われて、善であれ悪であれ、各自その肉体にあって  
した行為に応じて報いを受けることになるからです。

11 こういうわけで、私たちは、主を恐れることを知  
っているので、人々を説得しようとするのです。私た  
ちのことは、神の御前に明らかです。しかし、あなた  
がたの良心にも明らかになることが、私の望みです。  
12 私たちはまたも自分自身をあなたがたに推薦しよ  
うとするではありません。ただ、私たちのことを誇る  
機会をあなたがたに与えて、心においてではなく、う  
わべのことで誇る人たちに答えることができるように  
させたいのです。  
13 もし私たちが気が狂っているとすれば、それはただ  
神のためであり、もし正気であるとすれば、それはた  
だあなたがたのためです。  
14 というのは、キリストの愛が私たちを取り囲んでい  
るからです。私たちはこう考えました。ひとりの人が  
すべての人のために死んだ以上、すべての人が死んだ  
のです。  
15 また、キリストがすべての人のために死なれたのは、  
生きている人々が、もはや自分のためではなく、自  
分のために死んでよみがえった方のために生きるため  
なのです。  
16 ですから、私たちは今後、人間的な標準で人を知る  
うとはしません。かつては人間的な標準でキリストを  
知っていたとしても、今はもうそのような知り方はし  
ません。  
17 けれどもキリストのうちにあるなら、その人は新し  
く造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、す  
べてが新しくなりました。  
18 これらのことはすべて、神から出ているのです。神  
は、キリストによって、私たちをご自分と和解させ、  
また和解の務めを私たちに与えてくださいました。  
19 すなわち、神は、キリストにあって、この世を自分  
分と和解させ、違反行為の責めを人々に負わせな  
い、和解のこぼを私たちにゆだねられたのです。  
20 こういうわけで、私たちはキリストの使節なので  
す。ちやうど神が私たちを通して懇願しておられるよ  
うです。私たちは、キリストに代わって、あなたがた  
に願います。神の和解を受け入れなさい。  
21 神は、罪を知らない方を、私たちの代わりに罪とさ  
れました。それは、私たちが、この方において、神の  
義となるためです。

コリントの新しい和解を受け取り、  
明らかにする。  
キリストにあって、和解の務め

6

1 私たちは神とともに働く者として、あなたがたに懇願します。神の恵みをむだに受けられないようにしてください。

2 神は言われます。

「わたしは、恵みの時にあなたに答え、

救いの日にあなたを助けた。」

確かに、今は恵みの時、今は救いの日です。

3 私たちは、この務めがそられないために、どんなことにも人につまずきを与えないようにと、

4 あらゆることにおいて、自分を神のしもべとして推薦しているのです。すなわち非常な忍耐と、悩みと、

苦しみと、嘆きの中で、

5 また、むち打たれるときにも、入獄にも、暴動にも、

労役にも、徹夜にも、断食にも、

6 また、純潔と知識と、寛容と親切と、聖霊と偽りのない愛と、

7 真理のことで神の力により、また、左右の手に持っている義の武器により、

8 また、ほめられたり、そしられたり、悪評を受けた

り、好評を博したりすることによって、自分を神のしもべとして推薦しているのです。私たちは人をだます

者のように見えても、真実であり、

9 人に知られないようでも、よく知られ、死にそうでも、見よ、生きており、罰せられているようであっても、殺されず、

10 悲しんでいるようでも、いつも喜んでおり、貧しいようでも、多くの人を富ませ、何も持たないようでも、すべてのものを持っています。

[ 2タザル 1ガヤ 4セ ]  
7: 52:11 26:11

11 コリントの人たち。私たちはあなたがたに包み隠すことなく話しました。私たちの心は広く開かれています。

12 あなたがたは、私たちの中で制約を受けているのではなく、自分の心で自分を窮屈にしているのです。

13 私は自分の子どもに対するように言います。それに報いて、あなたがたのほうでも心を広くしてください。

14 不信者と、つり合わぬくびきをいっしょにつけてはいけません。正義と不法とに、どんなつながりがあるでしょう。光と暗やみとに、どんな交わりがあるでしょう。

15 キリストとベリアルとに、何の調和があるでしょう。信者と不信者とに、何のかかわりがあるでしょう。

16 神の宮と偶像とに、何の一致があるでしょう。私たちは生ける神の宮なのです。神はこう言われました。

「わたしは彼らの間に住み、また歩む。

わたしは彼らの神となり、

彼らはわたしの民となる。

それゆえ、彼らの中から出て行き、

彼らと分離せよ、と主は言われる。

汚れたものに触れないようにせよ。

そうすれば、わたしはあなたがたを受け入れ、

わたしはあなたがたの父となり、

あなたがたはわたしの息子、娘となる、

と全能の主が言われる。」

18

19 愛する者たち。私たちはこのよう

な約束を与えられているのですから、

いっさいの霊肉の汚れから自分をきよめ、

神を恐れかしこんで聖きを全うしなくてはありませんか。

2 私たちに対して心を開いてください。私たちは、

だれにも不正をしたことがなく、だれをもそこなった

ことがなく、だれからも利をむさぼったことがありません。

3 責めるためにこう言うのではありません。前にも言ったように、あなたがたは、私たちとともに死に、ともに生きるために、私たちの心のうちにあるのです。

4 私のあなたがたに対する信頼は大きいのであって、

私はあなたがたを大いに誇りとしています。私は慰めに満たされ、どんな苦しみの中であっても喜びに満ちあふれています。

7

1 愛する者たち。私たちはこのよう  
な約束を与えられているのですから、  
いっさいの霊肉の汚れから自分をきよめ、  
神を恐れかしこんで聖きを全うしなくてはありませんか。  
2 私たちに対して心を開いてください。私たちは、  
だれにも不正をしたことがなく、だれをもそこなった  
ことがなく、だれからも利をむさぼったことがありま  
せん。  
3 責めるためにこう言うのではありません。前にも言  
ったように、あなたがたは、私たちとともに死に、と  
ともに生きるために、私たちの心のうちにあるのです。  
4 私のあなたがたに対する信頼は大きいのであって、  
私はあなたがたを大いに誇りとしています。私は慰  
めに満たされ、どんな苦しみの中であっても喜びに満ち  
あふれています。

2テ9. 信頼.

神と信者 ← 不信者  
神と交わり 離れ



慰め  
悲しみ → 喜び  
苦しめ 熱意 悔い改め 7章

マケドニアに着いたとき、私たちの身には少しの安らぎもなく、さまざまの苦しみに会って、外には戦い、うちには恐れがありました。  
 しかし、気落ちした者を慰めてくださる神は、テトスが来たことによって、私たちを慰めてくださいました。  
 7ただテトスが来たことばかりでなく、彼があなたがたから受けた慰めによっても、私たちは慰められたのです。あなたがたが私を慕っていること、嘆き悲しんでいること、また私に対して熱意を持っていてくれることを知らされて、私はますます喜びにあふれました。  
 8あの手紙によってあなたがたを悲しませなければいけません。あの手紙がしばらくの間であつたにしろ、あなたがたを悲しませたのを見て、悔いたけれども、  
 9今は喜んでいきます。あなたがたが悲しんだからではなく、あなたがたが悲しんで悔い改めたからです。あなたがたは神のみこころに添って悲しんだので、私たちのために何の害も受けなかったのです。  
 10神のみこころに添った悲しみは、悔いのない、救いに至る悔い改めを生じさせますが、世の悲しみは死をもたらします。  
 11ご覧なさい。神のみこころに添ったその悲しみが、あなたがたのうちに、どれほどの熱心を起こさせたことでしょうか。また、弁明、憤り、恐れ、慕う心、熱意、怒り、断罪を断行させたことでしょうか。あの問題について、あなたがたは、自分たちがすべての点で潔白であることを証明したのです。

パウロのことはどうして (喜) 悔い改めた。  
 テトスを受け入れたと聞いて (喜び) 喜んでいよ。

2:12.

12ですから、私はあなたがたに手紙を書きましたが、それは悪を行なった人のためでもなく、その被害者のためでもなくて、私たちに對するあなたがたの熱心が、神の御前に明らかにされるためであつたのです。  
 13こういうわけですから、私たちが慰めを受けました。この慰めの上にテトスの喜びが加わって、私たちはなおいっそう喜びました。テトスの心が、あなたがたすべてによって安らぎを与えられたからです。  
 14私はテトスに、あなたがたのことを少しばかり誇りましたが、そのことで恥をかかずに済みました。というのには、私たちがあなたがたに語ったことがすべて真実であつたように、テトスに對して誇つたことも真実となつたからです。  
 15彼は、あなたがたがみなよく言うことを聞き、恐れおのいて、自分を迎えてくれたことを思い出して、あなたがたへの愛情をますます深めています。  
 16私は、あなたがたに全幅の信頼を寄せることができると喜んでいきます。

9:3-4

ことば 手紙に書き添う

貧しき一箇

神の恵み

マケドニアへの教会の熱心

テトス

コリントの恵みのわざに熱心

テトス Rev. 3:14

自ら喜んでささげ

互いに

8

1 さて、兄弟たち。私たちは、マケドニアの諸教会に与えられた神の恵みを、あなたがたに知らせようと思ひます。

2 苦しみゆえの激しい試練の中にあつても、彼らの満ちあふれる喜びは、その極度の貧しさにもかかわらず、あふれ出て、その惜しみなく施す富となつたのです。

3 私はあかしします。彼らは自ら進んで、力に応じ、いや力以上にささげ、

4 聖徒たちをささえる交わりの恵みにあずかりたいと、熱心に私たちに願つたのです。

5 そして、私たちの期待以上に、神のみこころに従つて、まず自分自身を主にささげ、また、私たちにもゆだねてくれました。

6 それで私たちは、テトスがすでにこの恵みのわざをあなたがたの間で始めていたのですから、それを完了させるよう彼に勧めたのです。

7 あなたがたは、すべてのことに、すなわち、信仰にも、ことばにも、知識にも、あらゆる熱心にも、私たちから出てあなたがたの間にある愛にも富んでいるように、この恵みのわざにも富むようになってください。

8 こうは言つても、私は命令するものではありません。ただ、他の人々の熱心さをもつて、あなたがた自身の愛の真実を確かめたいのです。

9 あなたがたは、私たちの主イエス・キリストの恵みを知つています。すなわち、主は富んでおられたのに、あなたがたのために貧しくなりました。それは、あなたがたが、キリストの貧しさによって富む者となるためです。

10 この献金のことについて、私の意見を述べましょう。それはあなたがたの益になることだからです。あなたがたは、このことを昨年から、他に先んじて行なつただけでなく、このことを他に先んじて願つた人たちです。

11 ですから、今、それをし遂げなさい。喜んでしようと思つたのですから、持つてくる物で、それをし遂げることが出来るはずですよ。

12 もし熱意があるならば、持たない物によつてではなく、持つてくる程度に応じて、それは受納されるのです。

13 私はこのことによつて、他の人々には樂をさせ、あなたがたには苦勞をさせようとしてゐるのではなく、平等を図つてゐるのです。

14 今あなたがたの余裕が彼らの欠乏を補うなら、彼らの余裕もまた、あなたがたの欠乏を補うことになるのです。こうして、平等になるのです。

15 「多く集めた者も余るところがなく、少し集めた者も足りないところになつた。」と書いてあるとおりにす。

16 私があなたがたのことを思うのと同じ熱心で、テトスの心にも与えてくださった神に感謝します。

出16:18

マナ

(まごあることと知ら)

テトスと兄弟を送り野

16 私があなたがたのことを思うのと同じ熱心で、テトスの心にも与えてくださった神に感謝します。

17 彼は私の勧めを受け入れ、非常な熱意をもつて、自分から進んであなたがたのところに行こうとしてゐます。

18 また私たちは、テトスといっしょに、ひとりの兄弟を送ります。この人は、福音の働きによつて、すべての教会で称賛されていますが、

19 そればかりでなく、彼は、この恵みのわざに携わつてゐる私たちに同伴するよう諸教会の任命を受けたのです。私たちがこの働きをしてゐるのは、主ご自身の栄光のため、また、私たちの誠意を示すためにほかなりません。

20 私たちは、この献金の取り扱いについて、だれからも非難されることがないように心がけています。

21 それは、主の御前ばかりでなく、人の前でも公明正大なことを示そうと考えているからです。

22 また、彼らといっしょに、もうひとりの兄弟を送ります。私たちはこの兄弟が多くのことについて熱心であることを、しばしば認めることができました。彼は今、あなたがたに深い信頼を寄せ、ますます熱心になつてゐます。

23 テトスについて言えば、彼は私の仲間で、あなたがたの間での私の同勞者です。兄弟たちについて言えば、彼らは諸教会の使者、キリストの栄光です。

24 ですから、あなたがたの愛と、私たちがあなたがたを誇りとしてゐる証拠とを、諸教会の前で、彼らに示してほしいのです。

愛の証人と送り



準備用意

マケドニアにコリントの熱意を語った

9

1 聖徒たちのためのこの奉仕については、いまさら、あなたがたに書き送る必要はないでしょう。

2 私はあなたがたの熱意を知り、それについて、あなたがたのことをマケドニアの人々に誇って、アカヤでは昨年から準備が進められていると言ったのです。こうして、あなたがたの熱心は、多くの人を奮起させました。

3 私が兄弟たちを送ることにしたのは、このばあい、私たちがあなたがたについて誇ったことがむだにならず、私が言っていたとおりに準備していてもらうためです。

4 そうでないと、もしマケドニアの人が私といっしょに行つて、準備ができていないのを見たら、あなたがたはもろんですが、私たちも、このことを確信していただけに、恥をかくことになるでしょう。

5 そこで私は、兄弟たちに勧め、先にそちらに行かせ、前に約束したあなたがたの贈り物を前もって用意していただくことが必要だと思ひました。どうか、この献金を、惜しみながらするのではなく、好意に満ちた贈り物として用意しておいてください。

愛の証

9:14

神への感謝に至る

喜んで備えて下さい

2:29 祝福

6 私はこう考えます。少しだけ誇く者は、少しだけ刈り取り、豊かに誇く者は、豊かに刈り取ります。

7 ひとひとりひとり、いやいやながらでなく、強いられてでもなく、心で決めたとおりにしなさい。神は喜んで与える人を愛してくださいませ。

8 神は、あなたがたを、常にすべてのことに満ち足りて、すべての良いわざにあふれる者とするために、あらゆる恵みをあふれるばかり与えることのできる方です。

9 この人は散らして、貧しい人々に与えた。その義は永遠にとどまる。」

と書いてあるとおりです。

10 誇く人に種と食べるパンを備えてくださる方は、あなたがたにも誇く種を備え、それをふやし、あなたがたの義の実を増し加えてくださいませ。

11 あなたがたは、あらゆる点で豊かになって、惜しみなく与えるようになり、それが私たちを通して、神への感謝を生み出すのです。

12 なぜなら、この奉仕のわざは、聖徒たちの必要を十分に満たすばかりでなく、神への多くの感謝を通して、満ちあふれるようになるからです。

13 このわざを証拠として、彼らは、あなたがたがキリストの福音の告白に対して従順であり、彼らに、またすべての人々に惜しみなく与えていることを知って、神をあがめることでしょう。

14 また彼らは、あなたがたのために祈るとき、あなたがたに与えられた絶大な神の恵みのゆえに、あなたがたを慕うようになるのです。

15 ことばに表わせないほどの賜物のゆえに、神に感謝します。

情けなく与えたり  
感謝を生み出す

Ps 112:9  
(義人行す者)

情けなく人に貸す

不従順  
肉の味は  
リストに属する

10

1 さて、私パウロは、キリストの柔和と寛容をもって、あなたがたにお勧めします。私は、あなたがたの間において、面と向かっているときはおとなしく、離れているあなたがたに対しては強気な者です。

2 しかし、私は、あなたがたのところにいくときには、私たちを肉に従って歩んでいるかのように考える人々に対して勇敢にふるまおうと思っっているその確信によって、強気にふるまうことがなくて済むように願っています。

3 私たちは肉にあって歩んではいても、肉に従って戦ってはいません。

4 私たちの戦いの武器は、肉の物ではなく、神の御前で、要塞をも破るほどに力のあるものです。

5 私たちは、さまざまの思弁と、神の知識に逆らって立つあらゆる高ぶりを打ち砕き、すべてのはかりごとをとりこにしてキリストに服従させ、

6 また、あなたがたの従順が完全になるとき、あらゆる不従順を罰する用意ができています。

7 あなたがたは、うわべのことだけを見ます。もし自分はキリストに属する者だと確信している人があるなら、その人は、自分がキリストに属しているように、私たちもまたキリストに属しているという（ことを）もう一度、自分でよく考えなさい。

8 あなたがたを倒すためではなく、立てるために主が私たちに授けられた権威については、たとえ私が多少誇りすぎることがあっても、恥とはならないでしょう。

・肉に従う、肉の味、  
・リストに属する

13:10

9 私は手紙であなたがたをおどしているかのように見られたくありません。

10 彼らは言います。「パウロの手紙は重みがあって力強いが、実際に会ったばあいの彼は弱々しく、その話しぶりは、なっていない。」

11 そういう人はよく承知しておきなさい。離れているときに書く手紙のことはがそうなら、いっしょにいるときの行動もそのとおりです。

12 私たちは、自己推薦をしているような人たちの中のだれかと自分を同列に置いたり、比較したりしようなどとは思いません。しかし、彼らが自分たちの間で自分を量ったり、比較したりしているのは、知恵のないことなのです。

13 私たちは、限度を越えて誇りはしません。私たちがあなたがたのところまで行くのも、神が私たちに量って割り当ててくださった限度内で行くのです。

14 私たちは、あなたがたのところまでは行かないのに無理に手を伸ばしているではありません。事実、私たちは、キリストの福音を携えてあなたがたのところまで行ったのです。

15 私たちは、自分の限度を越えてほかの人の働きを誇ることはしません。ただ、あなたがたの信仰が成長し、あなたがたによって、私たちの領域内で私たちの働きが広げられることを望んでいます。

16 それは、私たちがあなたがたの向こうの地域にまで福音を宣べ伝えるためであって、決して他の人の領域でなされた働きを誇るためではないのです。

17 誇る者は、主にあって誇りなさい。

18 自分で自分を推薦する人でなく、主に推薦される人こそ、受け入れられる人です。



# 11

1 私の少しばかりの愚かさをこらえて  
いただきたいと思います。いや、  
あなたがたはこらえているのです。

2 というのも、私は神の熱心をもって、熱心にあなたが  
たのことを思っているからです。私はあなたがたを、  
清純な処女として、ひとりの人の花嫁に定め、キリス  
トにささげることにしたからです。

3 しかし、蛇が悪巧みによってエバを欺いたように、  
万一にもあなたがたの思いが汚されて、キリストに対  
する真実と貞潔を失うことがあってはと、私は心配し  
ています。

4 というわけは、ある人が来て、私たちの言へば伝えな  
かった別のイエスを宣べ伝えたり、あるいはあなたが  
たが、前に受けたことのない異なった霊を受けたたり、  
受け入れたことのない異なった福音を受けたりするこ  
とも、あなたがたはみことこらえているからです。

5 私は自分をあの大使徒たちに少しでも劣っている  
とは思いません。

6 たとい、話は巧みでないにしても、知識についてはそ  
うではありません。私たちは、すべての点で、いろいろ  
なばあいには、そのことをあなたがたに示して来ました。  
7 それとも、あなたがたを高めるために、自分を低く  
して報酬を受けずに神の福音をあなたがたに宣べ伝え  
たことが、私の罪だったのでしょうか。

8 私は他の諸教会から奪い取って、あなたがたに仕え  
るための給料を得たのです。

9 あなたがたのところにて困窮していたときも、私  
はだれにも負担をかけませんでした。マケドニヤから  
来た兄弟たちが、私の欠乏を十分に補ってくれたので  
す。私は、万事につけあなたがたの重荷にならないよ  
うにしましたし、今後ともそうするつもりです。

10 私にあるキリストの真実にかけて言います。アカヤ  
地方で私のこの誇りが封じられることは決してありま  
せん。

11 なぜでしょう。私があなたがたを愛していないから  
でしょうか。神はご存じです。

12 しかし、私は、今していることを今後も、し続ける  
つもりです。それは、私たちと同じように誇るところ  
があるとみなされる機会をねらっている者たちから、  
その機会を断ち切ってしまうためです。

13 こういう者たちは、にせ使徒であり、人を欺く働き  
人であって、キリストの使徒に変装しているのです。  
14 しかし、驚くには及びません。サタンさえ光の御使  
いに変装するのです。

15 ですから、サタンの手下どもが義のしもべに変装し  
たとしても、格別なことはありません。彼らの最後は  
そのしわざにふさわしいものとなります。

16 くり返して言いますが、だれも、私を愚かと思っ  
てはなりません。しかし、もしそう思うなら、私を愚  
か者扱いにしないでください。私も少し誇ってみせます。

17 これから話すことは、主によって話すのではなく、  
愚か者としてする思い切った自慢話です。

18 多くの人が肉によって誇っているので、私も誇るこ  
とにします。

19 あなたがたは賢いのに、よくも喜んで愚か者たちを  
こらえています。

20 事実、あなたがたは、だれかに奴隷にされても、食  
い尽くされても、だまされても、いばられても、顔を  
たたかれても、こらえているではありませんか。

21 言うのも恥ずかしいことですが、言わなければなり  
ません。私たちは弱かったのです。しかし、人があえ  
て誇ろうとするのなら、——私は愚かになって言  
いますが、——私もあえて誇りましょう。

22 彼らはヘブル人ですか。私もそうです。彼らはイス  
ラエル人ですか。私もそうです。彼らはアブラハムの  
子孫ですか。私もそうです。

23 彼らはキリストのしもべですか。私は狂気したよう  
に言いますが、私は彼ら以上にそうなのです。私の労  
苦は彼らよりも多く、牢に入れられたことも多く、ま  
た、むち打たれたことは数えきれず、死に直面したこ  
ともしばしばでした。

24 ユダヤ人から三十九のむちを受けたことが五度、  
25 むちで打たれたことが三度、石で打たれたことが一  
度、難船したことが三度あり、一昼夜、海上を漂った  
こともあります。

26 幾度も旅をし、川の難、盗賊の難、同国民から受け  
る難、異邦人から受ける難、都市の難、荒野の難、海  
上の難、にせ兄弟の難に会い、

27 苦ししみ、たびたび眠られぬ夜を過ごし、飢え渴  
き、しばしば食べ物もなく、寒さに凍え、裸でいたこ  
ともありました。

28 このような外から来ることのほかに、日々私に押し  
かかるすべての教会への心づかいがあります。

29 だれかが弱くて、私が弱くない、ということがあ  
るでしょうか。だれかがつまずいていて、私の心が激し  
く痛まないでおられましようか。

30 もしどうしても誇る必要があるなら、私は自分の弱  
さを誇ります。

31 主イエス・キリストの父なる神、永遠にほめたたえ  
られる方は、私が偽りを言っていないのをご存じで  
す。

32 ダマスコではアレタ王の代官が、私を捕えようとし  
てダマスコの町を監視しました。

33 そのとき私は、城壁の窓からかごでつり降ろされ、  
彼の手をのがれました。

使9:25

1 無益なことですが、誇るのもやむをえないことです。私は主の幻と啓示のことを話しましょう。

2 私はキリストにあるひとりの人を知っています。この人は十四年前に――肉体のままであったか、私は知りません。肉体を離れてであったか、それも知りません。神はご存じです。――第三の天にまで引き上げられました。

3 私はこの人が、――それが肉体のままであったか、肉体を離れてであったかは知りません。神はご存じです。

4 ペラダイスに引き上げられて、人間には語ることを許されていない、口に出すことのできないことばを聞いたことを知っています。

5 このような人について私は誇るのです。しかし、私自身については、自分の弱さ以外には誇りません。

6 たとい私が誇りたいと思つたとしても、愚か者にはなりません。真実のことを話すのだからです。しかし、誇ることは控えましょう。私について見ること、私から聞くこと以上に、人が私を過大に評価するといけないからです。

7 また、その啓示があまりにもすばらしいからです。そのために私は、高ぶることのないようにと、肉体に一つのとげを与えられました。それは私が高ぶることのないように、私を打つための、サタンの使いです。

8 このことについては、これを私から去らせてくださるようにと、三度も主に願いました。

9 しかし、主は、「わたしの恵みは、あなたに十分である。というのには、わたしの力は、弱さのうちに完全に現われるからである。」と言われたのです。ですから、私は、キリストの力が私をおおつたために、むしろ大いに喜んで私の弱さを誇りましょう。

10 ですから、私は、キリストのために、弱さ、侮辱、苦痛、迫害、困難に甘んじています。なぜなら、私が弱いときにこそ、私は強いからです。

2+2+ Q:10

11 私は愚か者になりました。あなたがたが無理に私をそうしたのです。私は当然あなたがたの推薦を受けてよかつたはずですが。たとい私は取るに足りない者であつても、私はあの大使徒たちにどのような点でも劣るところはありませんでした。

12 使徒としてのしるしは、忍耐を尽くしてあなたがたの間でなされた、あの奇蹟と不思議と力あるわざです。

13 あなたがたが他の諸教会より劣っている点は何でしょうか。それは、私のほうであなたがたには負担をかけたことがただけです。この不正については、どうか、赦してください。

14 今、私はあなたがたのところに行こうとして、三度目の用意ができています。しかし、あなたがたに負担はかけません。私が求めているのは、あなたがたの持ち物ではなく、あなたがた自身だからです。子は親のためにたくわえる必要はなく、親が子のためにたくわえるべきです。

15 ですから、私はあなたがたのたましいのためには、大いに喜んで財を費やし、また私自身をさえ使い尽くしましょう。私があるがたを愛すれば愛するほど、私はいよいよ愛されなくなるのでしょうか。

16 あなたがたに重荷は負わせなかつたにしても、私は、悪賢くて、あなたがたからだまし取つたのだと言われ

17 あなたがたのところに行つた人たちのうちのただれによって、私があるがたを欺くようなことがあつたでしょうか。

18 私はテトスにそちらに行くように勧め、また、あの兄弟を同行させました。テトスはあなたがたを欺くようなことをしたでしょうか。私たちは同じ心で、同じ歩調で歩いたではありませんか。



19 あなたがたは、前から、私たちがあなたがたに對して自己弁護をしているのだと思っていたことでしよう。しかし、私たちは神の御前で、キリストにあって語っているのです。愛する人たち。すべては、あなたがたを築き上げるためなのです。

20 私の恐れていることがあります。私が行ってみると、あなたがたは私の期待しているような者でなく、私もあなたがたの期待しているような者でないことになるのではないのでしょうか。また、争い、ねたみ、憤り、党派心、そして、陰口、高ぶり、騒動があるのではないのでしょうか。

21 私がもう一度行くとき、また私の神が、あなたがたの面前で、私をはずかしめることはないでしようか。そして私は、前から罪を犯して、その行なった汚れと不品行と好色を悔い改めない多くの人たちのために、嘆くようなことにはならないでしようか。

# 13

1 私があなたがたのところへ行くのは、これで三度目です。すべての事實は、ふたりか三人の証人の口によって確認されるのです。

2 私は二度目の滞在のときに前もって言っておいたのですが、こうして離れている今も、前から罪を犯している人たちとほかのすべての人たちに、あらかじめ言っておきます。今度そちらに行つたときには、容赦はしません。

3 こう言うのは、あなたがたはキリストが私によって語っておられるという証拠を求めているからです。キリストはあなたがたに對して弱くはなく、あなたがたの間であつて強い方です。

4 確かに、弱さのゆえに十字架につけられましたが、神の力のゆえに生きておられます。私たちもキリストにあって弱い者ですが、あなたがたに對する神の力のゆえに、キリストとともに生きています。

1:23

5 あなたがたは、信仰に立っているかどうか、自分自身をためし、また吟味しなさい。それとも、あなたがたのうちにはイエス・キリストがおられることを、自分で認めないのですか。——あなたがたがそれに不資格であれば別です。

6 しかし、私たちは不資格でないことを、あなたがたが悟るように私は望んでいます。

7 私たちは、あなたがたがどんな悪をも行なわないように神に祈っています。それによつて、私たち自身の資格であることが明らかになるというのではなく、たとい私たちは不資格のように見えても、あなたがたに正しい行ないをしてもらいたいためです。

8 私たちは、真理に逆らつては何をすることもできず、真理のためなら、何でもできるのです。

9 私たちは、自分は弱くてもあなたがたが強ければ、喜ぶのです。私たちはあなたがたが完全な者になることを祈っています。

10 そういわけて、離れていてこれらのことを書いているのは、私が行つたとき、主が私に授けてくださった權威を用いて、きびしい処置をとることのないようにするためです。この權威が与えられたのは築き上げるためであつて、倒すためではないのです。

11 終わりに、兄弟たち。喜びなさい。完全な者になりなさい。慰めを受けなさい。一つ心になりなさい。平和を保ちなさい。そうすれば、愛と平和の神はあなたがたとともにいてくださいます。

12 聖なる口づけをもつて、互いにあいさつをかわしなさい。すべての聖徒たちが、あなたがたによくと言っています。

13 主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖靈の交わりが、あなたがたすべてとともにありますように。

10:8

真理に逆らう(信仰の資格者)

2テリ3:8

テス1:16

不資格